

# 藻かけ

50th  
anniversary  
HHC  
since  
1966

平成28年12月1日発行

## へら研阪神クラブ会報

平成二十八年十二月号 No516

発行〒666-0024 川西市久代1丁目5番42号

(株) クシロ内 へら研阪神クラブ

TEL 072-759-7023 FAX 072-759-8615

Photo 郷田 満、柴田忠幸、藤井秀和、明石 徹、滝沢 享 編集 滝沢 享 稲森 豊、岡田寿夫、杉原武弘

### 十一月例会

滝沢 享

十一月十三日(日)、岡山県の百間川と旭川・山陽道下流に於いて、会員31名とオープン参加2名の参加を得て開催した。

午前6時30分、百間川橋右岸下流の河川敷駐車場に集合。

稲森会長の挨拶、郷田理事長よりオープン参加の橋島宏幸さん、三根嗣音さんが紹介されました。

続いて競技方法の説明と前日の釣況報告で、旭川は水が澄み不調。百間川も金曜日に約40cm減水し全体としては芳しくなく、中川橋周辺と庄内川では釣れたとの事。

フリー入川で不調の旭川を敬遠し、全員が百間川流域に入川。

朝地合いで上流と庄内川で釣れたが、中流から下流にかけてはアタリもない状態。砂川も同様で昼前には百間川へ移動するも状況は変わらず、近年にない不調。

午後4時終了。百間川左岸上流に入った郷田さんが良型を揃え、先月に続き優勝。2位の藤井秀和さんは庄内川で、3位の藤井栄子さんは百間川中川橋左岸下流で良型を釣り入賞。釣果率37%。



昼前に地元の釣り人が良く入る砂川合流右岸にポイント移動するもアタリはなし・森田さん



砂川上流右岸・昨年釣れたポイントだが今日は厳しかった。



瀬野さん

百間川中川橋左岸下流の元吉さん・脇阪さん



百間川上流右岸の稲森さんとオープン参加の三根さん



百間川右岸下流の綱島さんと大橋さん



十一月例会成績表 (ヘラブナ二尾長寸)

優勝	郷田 満	74.0cm	410点
2位	藤井 秀和	73.5cm	400点
3位	藤井 栄子	71.0cm	390点
4位	山本 勉	68.1cm	380点
5位	柴田 忠幸	68.0cm	370点
6位	井上 裕之	38.3cm	360点
7位	北尾 博之	37.3cm	350点
8位	三木 修	36.6cm	340点
9位	川上大二郎	35.0cm	330点
10位	橋島 宏幸	33.7cm	

(オープン参加)

11位	元吉 茂司	33.5cm	320点
-----	-------	--------	------

(参加点100点)

- 瀬野 利夫、高木 勇作、森田 定美
- 田路 秀一、熊田 智文、栗原 天高
- 岡田 寿夫、杉山 健一、松下 英樹
- 伊藤 規行、綱島 清一、白井 良紀
- 谷名 正博、脇阪 博蔵、板東 英昭
- 山本 尚美、大橋 充、稲森 豊
- 岡 修司、滝沢 享、明石 徹
- 三根 嗣音 (オープン参加)

三木さん

川上さん



柴田さん



十一月例会風景

今年十一月例会も試釣班は稲森会長と私が担当で、百間川と昨年開拓会を行った旭川・中原橋下流を試釣した。どちらも釣果があり理事会の賛同を得て、百間川と支流、旭川、山陽道下流に決まった。  
今回も前日から試釣を兼ねて、3時すぎに出発。百間川到着後、ポイント作りに今谷橋上手左岸へ。去年、航空写真から一部川床が深くなっている箇所を発見。そこは、テニスコートポイントから約500m下流。

優勝者 郷田 満



伊藤さん

右岸側は、稲森会長との試釣で釣れた場所です。足場が良い。当日、稲森会長と熊ちゃん、三根福音君に入ってもらい、左岸側に僕と北尾君が入るポイント作りをする。

水面に出るとモジリは少ないが、魚の気配はあるので、小場所だけに試釣はせず例会の楽しみに残しておく。

ポイント作りも終わり7時すぎに庄内川水門上手に行く、高所から藤井さんが竿を出しており、もう5枚釣れました。との返事。ここで脇阪さんも合流して、釣座を代わってもらいヘラを釣らせてもらった。

この場所は何時でも釣れるので、脇阪さん、藤井さん夫婦と旭川の中原橋を見に行くことに。中原橋から下を覗くと、水が澄んで川底まで丸見え状態。これでは釣りにならないので、稲森会長との試釣で釣れた旭川と百間川との合流付近へ行くと、河川敷を工事中でポイントまで入って行けず残念ながら断念。完成すれば旭川の新しいポイントを開拓してみたい場所。

百間川に戻り、以前釣れた百間川橋右岸下手のポイントで、4人竿を出してみたが、釣れてくるのは、モロコばかり。諦めて元吉さんがいる中川橋へ移動。中川橋左岸上手の階段で24尺を振っている元吉さんを見。以前からモジリがあつて、一度やってみたか

つた場所。

今日は、減水して水は澄み気味。この状況では難しいのでは、と思っているとアタリが？。36cm級のヘラが釣れてきた。

元吉さんの後ろには三木さんも加わって、5人でアタリが出る度に合わせの掛け声を出す。元吉さんも自分の釣りができないまま、一枚釣れたら代わり交代で釣らせてもらう。前日の試釣は、他力本願でヘラを釣らせてもらい宿泊先へ。

例会当日、百間川の水位は前日よりさらに20cmほど減水している。諸行事も終え、目指す釣り場は、今谷橋上手左岸。

水面に出ると上手の浅場からは、長靴で対岸まで歩いて行けるくらい減水している。(この場所は川床が粘土で、この40m程の間だけ掘り下げである)浅瀬から深みを狙って釣り台をセットし、18尺で流れの反転箇所を狙う。

一時間足らずで触りが始め、ズルっと入ったアタリに亀。流れの緩い所では亀に邪魔されるので、速い流れの方向に変えるとシモリながらトップが消し込み37・7cmが釣れた。しばらくアタリがなく竿先の手前でモジる。なかなか喰い渋ってアタリが出ない。



百間川中川橋左岸下流で藤井栄子さん

その後、的確なアタリが出なかったが、少しの変化を合わすと36・3cmが釣れて、ホッと一安心。対岸の3人は亀に悩まされている。下手に入っていた北尾君が、しばらく床休めをし、帰って直ぐに37cmを釣り上げた。帰って直ぐに37cmを釣り上げた。帰って直ぐに37cmを釣り上げた。帰って直ぐに37cmを釣り上げた。

何人かに情報を聞いても、返ってくる答えは、アタリも無い。変わる場所も無いまま納竿の時間となった。

集合場所に到着すると、半数以上に釣果が無かったとのこと。私は、運良く2枚の釣果で、相性の良い百間川で4回目の優勝に、秋季大会に引き続き連続優勝をすることが出来ました。

百間川上流を航空写真で見ると、米田橋から旭川合流付近までの間は、川床を掘り下げた箇所が、まだまだあるようです。



十一月例会 百間川流域 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 郷田 満	1.8 尺	1.5号	1号	上10号 下10号	上下とも マッシュ、ハラスミン、真底 藻べら、グルテンLL	水深1.8m 床	2枚
2位 藤井秀和	2.5 尺	1.5号	0.8号	上8号 下8号	上下とも マッシュ、藻べら 新べらグルテン	水深2m 0.8m宙	12枚
3位 藤井栄子	1.9 尺	2号	1号	上8号 下8号	上下とも 新べらグルテン 新べらグルテン底	水深1.5m 床	5枚
4位 山本 勉	1.8 尺	3号	1.2号	上8号 下8号	上下とも 新べらグルテン いもグルテン	水深2m 床	2枚
5位 柴田忠幸	1.9 尺	1.5号	0.8号	上8号 下6号	上下とも 新べらグルテン α21、いもグルテン	水深1.2m 床	2枚